

草加市
みんなでまちづくり
自治基本条例
のことが分かる



みんなで
まちづくり

副読本

Vol.2



企画・編集

草加市協働のひろば運営会議

身近な公園から
まちづくりを
考えてみよう



クイズ 1~5の公園、それぞれ
どこにある公園でしょう？

第1問 【ヒント】大きなふん水が特ちょうの公園。スケートボードができる場所もあるよ。また災害時にも活用できるように、たくさんの工夫があるよ。

答えはうら表紙▶

草加のまちには
すてきな公園が
いっぱいありますね
みなさんの家のまわりは
どうですか？

ふん水がある公園を見に
行ったんだ！
すごかったよ！

知ってる～
春の子どもフェスタとか
ふささら祭りも
やってるよ

災害のときには、
ヘリコプターが
着陸できるんだって

フサコさん

ダイキくん

モモさん

ユイくん

もくじ

身近な公園からまちづくりを考えてみよう

写真の公園、
どこにある公園でしょう？ p.2

公園をつくるとしたら
どんな公園が欲しい？ p.4

たいへんだ！
みんなの意見が違ふ p.5

みんなが
行きたくなる公園って？ p.6

市民が意見を出し合っ
てきた公園・緑道 p.7

まちづくりって何？

まちづくりって
何だろう？ p.8

まちづくりグループの
活動紹介 p.10

みんなの力で
まちを変える p.12

だれもが幸せな
まちをつくる p.13

アクションを起こす

まちづくりアクション
ワークシート p.14



第2問 【ヒント】緑がいっぱいの公園。公園内にはベンチも多いから、散歩ができる憩いの場として人気だよ。バスケやキャッチボールができる広場もあるよ。



第3問 【ヒント】みんなから「どうぶつ公園」と呼ばれているよ。カバやゾウやラクダなど動物たちがお出迎えしてくれる、大きな樹木のある公園。



第4問 【ヒント】草加市で一番標高の高い地点もある公園。林をイメージしたという遊具広場にはローラー滑り台やターザンロープなど楽しい遊具がいっぱいあるよ。



第5問 【ヒント】広場、遊具、グラウンドがある公園。周辺町会が公園を管理していて、クリスマスのイルミネーションや鯉のぼりなどで季節を楽しませてくれるよ。



公園をつくるとしたら どんな公園が欲しい？

サッカーが
できる公園！

どろんこ遊び
最高！

うわ～楽しそう
でも公園を利用するのは
子どもだけじゃないよね
まちの人にも
聞いてみよう

木登りも
やってみたいな～

小さい子でも
安心して遊べる
遊具が欲しいな

子どもに
思いっきり
水遊びをさせたいな

スケートボード
オリンピック種目
になったからね



水場や
シャワーも
あるといいな

季節が
感じられる公園
ゆったり歩いて
「ここで一句！」なんて

日よけがあって
ベンチに座ると
いいよね

地域の
いろんな世代が
交流できるイベント
会場がほしいな

たいへんだ！ みんなの意見が違う

たいへんだ
いろんな意見が
出てきたぞ

公園って
遊ぶだけじゃ
ないんだね…

利用する人の
年齢によっても
いろいろね

よいこと
ばかりじゃなくて
心配なことも
あるかも
しれないね



木が多いと
枯れ葉が散って
毎日、掃除が
たいへんだよ～

たまり場になるのが心配
トイレが壊されたり
さわいだり
迷惑になってる

ボール遊びは禁止！
小さい子には
危ないからね

不審者が心配
危険な場所を
なくして欲しいわ

ごみを
捨てていく
人もいるよ



心配なことも
いっぱいあるね

でも、危ないからって
ぜんぶ禁止にしたら
つまらない公園に
なっちゃうなあ



みんなが行きたくなる公園って？



小さな子どものいる家族も
おじいちゃんも、おばあちゃんも
若い人たちも、障がいのある人も、
だれも行きたくなる公園って
どんな公園なのかな？

大人が遊びの
リーダーをすれば
楽しいし
安心できるね

みんなが楽しめる
遊びを持ち寄って
おまつりなんかも
できるといいよね



映画会なんかもあれば
夜も楽しいよ



ごみの
持ち帰りは
市民のマナーだね

草刈りとかお掃除とか、
自分たちで
公園に手をかければ
親しみがもてるかもね



いつ行っても
仲間がいっぱいいれば
楽しいよね

草加のまちには
みんなが意見を出して
つくった公園や緑道が
あります
7ページの公園や緑道が
その例です



へえ～
キャッチボールや
水遊びができる
公園もあるの？

行ってみた～い



市民が意見を出し合っ てきた公園・緑道の例

瀬崎蒲原公園

みんなが声を出し合っ て整備しました

以前は、利用する人が少ない公園でした。みんなに親しまれる公園にしようと、地域の人達が集まって相談し、「みんなでまちづくり会議※」に提案しました。

遊具は、公園の一か所にまとまって目が届きやすく安心して遊べます。地域の歴史とともに成長してきたサクラやケヤキなどが繁っていて、緑がいっぱい。公園の外周の一部にボール遊び用のフェンスもありますがバットでの打撃などは禁止になっています。子どもから高年者まで誰もが安心して楽しめる公園をめざしています。

※「みんなでまちづくり会議」は、草加市みんなでまちづくり自治基本条例に基づいて、まちづくり計画を提案することができる場です。



▲春には藤の香りが運ばれて、葉が木陰を作る



▲すべり台など楽しめる遊具がいっぱい

◀シンボルとしてそびえ立つ大きなケヤキの木

瀬崎ふれあい通り親水緑道

じゃぶじゃぶ 水遊びができる緑道

昔は、「まえ堀」と呼ばれ、ドジョウなどがとれた用水路でした。田んぼがなくなってからは、荒れて悪臭がありました。何とかしたいと地域の人達が相談して、「みんなでまちづくり会議※」に「ふれあい通り親水緑道計画」を提案しました。

緑道に整備されてからは、昔よりも、もっと親しめる場所にしようと、草加市と市民が協力してゴミをなくしたり、季節の花を植えたりしてきれいになっています。緑道内には、じゃぶじゃぶ池という水遊びができる所や休けいできるベンチがあり、憩いの場所になっています。平成25年度には草加市のまちなみ景観賞を受賞しました。



▲年間を通してアイリス等の草花が楽しめる



▲井戸水を利用したせせらぎを楽しめる



◀水飲み場とふん水のあるじゃぶじゃぶ池

まちづくりって何?

まちづくりって何だろう?



公園や道路をつくることだけがまちづくりではありません。まちを住み良くする取組のすべてがまちづくりなんです。ここに紹介する例のほかにも、みんなにできる身近なことがいっぱいありますよ。

産業

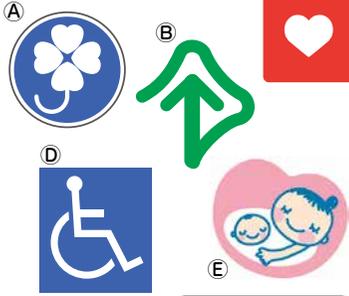
メイドイン草加の製品をみんなにで応援しよう! ところで草加市の名産って何があるか知ってる?



福祉

体の弱い高齢者や障がい者、妊娠中の女の人…。まちのなかで困っている人を見かけたら、声をかけてお手伝いしましょう。

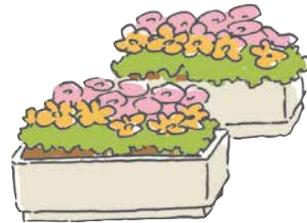
何のマークか調べてみよう!



答えはうら表紙▶

かんきょう 環境

まちがきれいだと気持ちがいいね。清掃活動やみどりを大切にする活動など、できることがあるかも。資源を大切にしたり、リサイクルしたり、地球規模の環境も身近なことから。



安全

車の交通量が多い道、人通りが少なくてさびしい道、猛スピードで通りすぎる自転車…。まちの中にある危険を見つける力をつけるのも、大切だね。



学校

学校生活がどうすればもっと楽しくなるでしょう? どうすればいじめがなくなる? まちづくりは身近な困りごとの解決から。みんなで考えよう。



健康

健康第一! 栄養バランスのとれた食事、体力づくり、病気の予防が健康のかなめです。



防災

地震や台風の災害時に一番大切なのは、命を守ること。防災にはご近所同士の助け合いが欠かせません。



地域

お祭りや運動会など、地域の行事に参加してみよう。ご近所さんと顔見知りになることもまちを知る第一歩です。



まちづくりグループの活動紹介



■草加・子どもの健康と学校給食を考える会

ひろがれ おいしいにおい!!

皆さんが食べている学校給食は、なぜいいおいがしておいしいか、知っていますか？ 草加市では、健康な子に育てて欲しいという思いを込めて、学校ごとに手作りしているからです。地元で採れた新鮮野菜を使っていたり、だしも削り節や煮干しなどからとっていたり、ハンバーグも手作りだったり、おいしい工夫がいっぱい。

私たち「草加・子どもの健康と学校給食を考える会」は、学校給食をもっと良くしたいと保護者・教師・調理士・栄養士が集まり昭和59年(1984年)発足。「調理士さんと一緒に学校給食をつくろう」の調理実習や学習会を開いて、安全・安心の手作り学校給食をより良くする研究をしたり、給食の良さをみんなに伝える活動をしています。



▲磁器食器も給食をおいしく食べるための大切な道具



▲調理実習「調理士さんと学校給食をつくろう」

▲給食のおいしさの秘密が分かるパンレットを毎年1年生に配布

■福祉まつりin草加実行委員会

みんなで作ろう バリアフリーのこころ

市内のボランティアグループや福祉関連団体が中心になって、平成6年(1994年)から毎年開催している交流の場が「福祉まつり」です。テーマは「みんなで作ろうバリアフリーのこころ」。障がいのある人もない人も、認知症の人も、介護にたずさわる人も、困っている人がいたら、みんなで助け合えるまちなにすることがねらいです。

福祉まつりでは、子どもも体験できる「点字名刺作り」やスタンプラリー、手話を使った会話を学んだりできるほか、車いすやアイマスク、高齢者疑似体験など、子どもも色々な福祉体験ができます。障がい者による演奏やダンスの発表や手作りの作品展示のほか、昔あそびや手作りおもちゃもあります。

見て聞いて感じる事ができる出会いの場です。



▲車いす体験。「草加市のバリアフリー度は？」



▲点字で自分の名刺を作る体験



▲各福祉施設の利用者によるダンス等の発表

■NPO法人 子ども広場草加おやこ劇場

いっしょにみようよ あそぼうよ

私たちは「優れた舞台芸術を、親子でいっしょに観ることを大切にしたい」と、昭和49年(1974年)に設立のグループです。舞台劇・人形劇・音楽・芸能などのアーティストを身近なホールや会館に招いて、みんなで鑑賞します。生の舞台との出会いは、きっとみなさんの心を揺り動かします。

舞台鑑賞で心にいっぱい栄養をためたら、たっぷりあそぶ…。あそびも私たちの大きな活動の柱です。子どもが店主になってあそびのお店屋さんをする「子どもあそび市」のほか、自然やアートを体験してあそぶ「キャンプ」や「表現活動」など、あそびがいっぱい。

私たち草加おやこ劇場は、同じ年齢の横のつながりのほかに、上下の年齢とあそび縦のつながりも大切にしています。ぜひあそびに来てね。



▲小さい子は親子で、大きくなったら友だちと演劇鑑賞



▲だれでも立ち寄ることができる「おやこ HOUSE」



▲思いっきり自然を体験できるキャンプ

■草加宿場まつり実行委員会

スローガンは 「子どもたちにふるさとを！」

毎年秋、草加駅東口旧町地区(荻丁目町会から六丁目町会の範囲)を中心に、地域のにぎわいづくりを目的として開催されるイベントが「草加宿場まつり」です。

このイベントでは、おみこしをふくめた各種パレードや音楽演奏、草加小学校をはじめ各所での模擬店、20店を超えるグルメ横丁、その他街頭パフォーマンスなど盛りだくさんですが、注目すべきは江戸時代の参勤交代を子どもがいっしょになって再現した大名行列です。

寛永7年(1630年)に幕府により取り立てられた草加宿は、旅人や参勤交代の東北諸藩が行き交う日光道中第2の宿場町として発展し続けてきました。これまでの草加の歴史と宿場町で育まれたおもてなしの精神文化を大切にしながら、これからの地域社会の活性化と発展を目指し、実行委員会は活動しています。



▲当時に再現した大名行列には子どもたちも参加。家老の殿様、なぎなた隊と続く



▲お姫様と、お姫様のお世話をする腰元役



▲舟運を表現した「草加もみ」と呼ばれるおみこしの作法

みんなの力で まちを変える

草加市では、市民がまちづくりの
主役になれるようにルールをつ
くりました。平成16年(2004年)に
スタートした「草加市みんなでまち
づくり自治基本条例」です。

市民と市の職員、もちろん市長も
市議会議員も、みんなで協力し合っ
てまちづくりに取り組んでいます。

草加市 みんなでまちづくり 自治基本条例

※条例とは
市町村、県などの自治体が
独自に決められるまちの
ルールです。自治体におい
て法律と同じ役割を果たし
ます。



市民



市長と市の職員

どうすれば
もっと住み良いまちに
なるか、みんなで
考えよう!



まちづくりの専門家



市議会議員



もちろん!
まちづくりは草加に住む人
みんなのもの。積極的に
関わってほしいな

大人になっても
続けていなくてはね

わたしたち小学生でも
まちづくりに
参加できるの?

ほくたちにできること
あるかな



だれもが幸せな まちをつくる

この条例がめざす目標の、
「だれもが幸せ」ってどうい
うことだろう?

自分だけが良くて
だめってことだね

高年者もうれしいこと
障がい者も楽しいこと
若い人が元気になること
だよ

みんなからも
意見を聞かなくちゃ



自治基本条例で 何ができるの?

この条例の特ちょうは、市民がまち
づくりの計画段階から市政に参画
して、発言したり提案したりでき
るようになったことです。
仲間づくりのしくみができ、草加市
が市民のまちづくり活動を応援す
るしくみもできました。

くらしの中で困っていることを解決
して、草加のまちを素敵なまちに
変えることができるかもしれない
ね。



市民が草加市に
まちづくりについて
提案ができる

まちづくりの仲間と
つながるしくみが
できた

まちづくりの活動を
草加市が応援する
しくみができた

アクションを
起こす

まちづくりアクション ワークシート

まちを良くするアイデアを考えるワークシートです。グループでチャレンジすると、きっとすごいアイデアが生まれるよ。



1 草加のまちの良いところと、改善したいと思うところをあげて、どうしてそう思うのか考えてみよう

●良いところ

●改善したいと思うところ



●どうして?

●どうして?

2 「こんなまちだったらいいのに」と思うまちを想像してことばにしてみよう

3 どうすれば良いまちになるか具体的に書いてみよう

●だれのため?

●みんなに協力してほしいことは何?

●実現するために自分でできることは何?

保護者や学校の先生、地域のみなさん、草加市で働くみなさんへ

わがまちを住みやすくする 自治基本条例

「草加お宝かるた」より

平成16年10月1日施行



草加市のまちづくりの目標は、みんなが協力して「だれもが幸せなまち」をつくることです。

この副読本は、その目標を実現するために制定された「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」を子どもたち（主に小学校6年生）に伝え、理解してもらうためにつくりました。まちづくりは、市民、市議会、市（市長をはじめとする市の職員のみなさん）が、それぞれ役割を担いながら、協力しあうことです。

市民の一員である子どもたちが、それぞれの発達段階に応じて、草加市に関心を持ち、まちづくりに向けた提案をすることは、とても大切なことだと思います。大人をはじめ、市議会や市のみなさんは、子どもたちの提案に耳を傾け、どうすれば「だれもが幸せなまち」をつくることができるかを、ともに考え行動してくださることを期待します。そういう体験をした子どもたちは、大人になってから地域やそのほかのあらゆる課題の解決に向けてともに考え主体的に行動するようになるでしょう。仮に草加市を離れたとしても、自分の大切なふるさととして草加市を誇るようになるでしょう。

私たち、市民活動センター協働のひろば運営会議は、このような願いのもとにこの副読本を作りました。

草加市みんなでまちづくり自治基本条例（前文）

（平成16年6月18日条例第23号）

私たち草加市民は、このまちと人を愛し、デモクラシーの精神にのっとり、このまちが「市民の市民による市民のため」の存在であることを自覚し、すべての市民の自由と平等と公正を保障する「だれもが幸せなまち」をつくります。

市民、市議会、市が市民自治を原則として、それぞれが主体的に次代をも見据えたまちづくりを行うため、ここに草加市みんなでまちづくり自治基本条例を制定します。

草加市みんなでまちづくり自治基本条例 みんなでまちづくり副読本 Vol.2

- 初版発行 平成29年（2017年）10月
- 第2版発行 平成30年（2018年）10月
- 企画・編集 草加市協働のひろば運営会議
- 発行 草加市市民活動センター
電話：048-920-3580
住所：〒340-0023 草加市谷塚町752番地
メール：simin-katudo@city.soka.saitama.jp

クイズの答え

- P. 2、3
- ① 綾瀬川左岸広場（松江）
 - ② 清門中央公園（清門）
 - ③ 稲荷公園（稲荷）
 - ④ そうか公園（柿木町）
 - ⑤ 中根町ふれあい広場（中根）
- P. 8
- Ⓐ 身体障害者マーク
 - Ⓑ 耳マーク
 - Ⓒ ヘルプマーク
 - Ⓓ 障害者のための国際シンボルマーク
 - Ⓔ マタニティマーク